

第 24 回サイトメトリー技術者認定試験 合格体験レポート

株式会社エスアールエル
三岳 慎太郎

【Ⅰ.受験に至った経緯】

私は日常業務として外部から委託された骨髓像の判読を行っています。形態学における細胞同定では特殊染色を用いても、苦慮する場面に多々遭遇します。そのような際に、細胞表面マーカーの解析結果というのはとても重要視しており、どの lineage の細胞なのか、芽球比率はどれほどか、異所性発現の有無は、リンパ腫病変を示す κ/λ 比の偏りや抗原発現量のバランスなど大変参考にしています。しかし、日常においてフローサイトメトリーの解析結果についても同様に苦慮することがあります。その為、血液形態学では認定血液検査技師があるように、フローサイトメトリーについても、きちんとした知識で理解を深めようと考えました。そして、そのものさしとなるのが、日本サイトメトリー学会が提供する本資格と考え受験に至りました。

【Ⅱ.試験対策】

試験対策としては、まず日本サイトメトリー学会 HP にある“認定サイトメトリー技術者”筆記試験用到達目標に目を通しました。次に試験日が 11 月 12 日であった為、スタンダードフローサイトメトリー第 2 版を熟読する為のスケジュールリングを行いました。ここでは日常業務においてどのよう

な事象が発生しても問題にならないような余裕のあるスケジュールを組みました。試験対策に取り組み始めたのは 6 月からです。勉強内容としてはスタンダードフローサイトメトリー第 2 版の各論を終える度に筆記試験到達目標の各項目を理解しているか確認しました。説明できないところはやり直しました。また、日本サイトメトリー学会 HP にはチャレンジ認定試験も掲示されている為、そちらについても満点を採れるまで行いました。その際のポイントとしては、問題はただ解くだけでなく、要点について内容を広げることです。(図 1)

日本サイトメトリー学会の勧める**スタンダードフローサイトメトリー第 2 版は必須**
・試験日より逆算してすべてを見通すスケジュールを立てる
※特に仕事をしながらでは予定は崩れる為、そこを加味したスケジュールを作成
何度も繰り返し見ていくことが大事

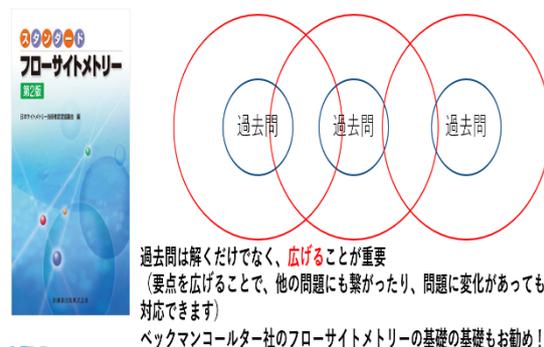


図 1 試験対策の取り組み

【Ⅲ.試験当日】

試験当日は朝から日本サイトメトリー学

会技術講習会が行われました。こちらでは各セクションを担当するそれぞれの講師がテキストに沿った形で、最新の情報や試験での重要なポイントを踏まえて講義して下さる為、大変有意義でした。

試験は日本サイトメトリー学会技術講習会後に行われます。私は昔からどの試験でも試験前日にはあまり睡眠をとりません。夕方からの試験は初めてであり、睡眠不足により集中力が欠けたことは見誤りました。その為、前日には極力睡眠をとることお勧めします。試験内容については“認定サイトメトリー技術者”筆記試験用到達目標の内容が満遍なく出題されます。

“認定サイトメトリー技術者”筆記試験用到達目標リンク

<https://www.cytometry.jp/wordpress/wp-content/uploads/toutatu.pdf>

【IV.試験を終えて】

今回、試験に向けて取り組み、始めはいかにフローサイトメトリーについて私の理解が乏しさを痛感しました。スタンダードフローサイトメトリー第2版を熟読したことで、原理から操作の注意点、解析結果の要点など、改めて整理することはとても重要でした。

今後、フローサイトメトリーは細胞形態学よりも、技術の進歩や新たなる発見によってさらなる飛躍を遂げていく分野だと思います。血液学では現在、WHO分類第5版が世に普及されつつある為、両者の情報についてきちんと把握する必要性があります。また、日常の業務についても両者の良し悪しを照らし合わせながら考えていく重

要性を再認識することが出来ました。

今回、試験に合格したことで日本サイトメトリー学会が求める知識・技術の水準に到達したこととなる為、自信に繋げることが出来ました。しかし、私自身まだまだ未熟であり、また医療は日進月歩の世界であることから、慢心せずに常日頃から様々な学会誌などに目を通し、新しい知識を取り入れていこうと思います。

血液疾患は細胞遺伝学的所見や分子生物学的所見、病理所見、骨髓像所見、フローサイトメトリー、臨床所見等と併せながら診断していくかと思います。その中の骨髓像の報告について、少しでも質の高い報告結果に繋がるようにフローサイトメトリーの結果も最大限に活かしつつ、これからも医療に貢献できるよう努めてまいります。

最後に、微力ながらこの体験記が今後受験される方々の参考になれば幸いです。